様式第３号（第５、第６の１、第６の２関係）（その１）

警 察 署 協 議 会 会 議 録

うきは警察署協議会

開催年月日時	令和５年１１月２９日　　午後４時００分　から 午後５時４５分　まで	
開　催　場　所	うきは警察署　３階会議室	
出　　席　　者	警察署協議会	会長以下５名
	警　　察　　署	署長、副署長、総務課長、生活安全課長、刑事課長、交通課長、警備課長、地域課長、総務第二係長、総務第二係員、総務第一係員

議　事　概　要

【会長挨拶】

今日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます

先日の年末年始特別警戒出動式において、竹野保育所の園児さんが１日警察署長を務められて、挨拶をしており、大変な災害があった後だが、大変元気がよく竹野地区の未来はとても明るいなと感じました。

コロナや災害などを経て、イベントや行事等を通常通り開催できることは大変ありがたいことだと思っています。

だからこそ、今日のような会議を有意義なものにしたいと思いますので、最後までどうぞ宜しくお願い致します。

【署長挨拶（要旨）】

今年も残すところ１カ月余りとなり、大変お忙しい中ご出席いただき、感謝申し上げる。

本日は、７月１０日の災害で被災した竹野駐在所の再建についての進捗状況についてご報告をさせていただく。

現在仮の事務所は、コミュニティセンターにあり、移転の候補地については、旧竹野駐在所付近の土地を再建の予定地として協議を重ねているところである。

駐在所は平屋建ての建物が多いが、災害があったことから、現時点、竹野駐在所の構造については２階建てを予定しているところである。

今の駐在所員の任期が終わるまでには、ぜひとも再建したいなと思っている所存である。

本日はどうぞ宜しくお願い申し上げる。

（Ａ４）

様式第３号（第５、第６の１、第６の２関係）（その２）

議　事　概　要

【報告事項等】
１　第５０回福岡県白バイ安全運転競技大会の結果報告
２　令和５年度福岡県柔道・剣道大会の結果報告
３　本年中の警察活動に対する総括、質疑に対する回答

【警察活動に対する総括、質疑に対する回答】
１【委員質問】
　最近「大麻グミ」に入っている成分のＨＨＣＨが、指定薬物に追加されたが、このようなグミ（食品）等は、ネットで簡単に入手できるものなのか。
　また、うきは署管内の中学・高校生で薬物に手を出している人もいるのか。
【刑事課長が回答】
　ＨＨＣＨが指定薬物に追加されるまでは、ネットショッピングサイトで簡単に入手可能であったが、現在は、購入できなくなっている。
　また、指定薬物となる前に、駆け込みで購入されたという報道もあり、裏で転売されるということも懸念している。
　現時点、当初管内において、中学・高校生で薬物に手を出している者は、認知していない。
　大麻は、知人や、ＳＮＳで知り合った人物から入手する方法が多く、容易に手に入れることができるということを認識していただきたい。
　また、大麻を吸引すると、五感が異常に冴えわたり、目の前にあるものが魅力的に見えるという特徴があることから、最近では音楽フェスにおいて売買されることも多い。

２【委員質問】
　闇バイトの事件は発生しているか。
【刑事課長が回答】
　当署管内においては、事件の取扱いはない。
　しかし、ニセ電話詐欺の受け子や出し子などの募集が、X（旧ツイッター）等で未だ投稿されている。

３【委員質問】
　高額所得者リストはどのようにして加害へと渡るのか。
【生活安全課長が回答】
　「名簿屋」というものが存在し、中学校・高校の卒業アルバム、電話帳や企業の持つ顧客情報を収集して名簿を詐欺グループに対して売りさばいている。
　名簿の入手方法は様々で、
　　名簿屋自身が卒業アルバムなどを入手する
　　会社の顧客情報の管理者が金に困り、名簿屋に対して名簿を売り渡す
　　偽のメールを送信して情報を入力させて騙しとるフィッシング
等の方法で入手している。

（Ａ４）
様式第３号（第５、第６の１、第６の２関係）（その２）

議　事　概　要
４【委員質問】 　管内の中学・高校生で、非行により、不登校の子供はどれくらいいるのか、またその子たちへのアプローチや声掛け等はされているのか。 【生活安全課長が回答】 　警察としては、不登校の少年の人数は把握しておらず、学校等を管轄する教育委員会が把握している。 　非行少年の立ち直りについては、保護者に観護の依頼を行うのが基本である。事件であれば、原則、保護者に面前で事件概要等を説明の上で依頼するし、深夜徘徊などの補導を行った際も保護者に連絡して観護を依頼している。 　その中で保護者の同意が得られた場合は、専門の少年補導職員や少年課派遣警察官が所属する少年サポートセンターと連携して継続的な支援することもあるが、いずれにしても保護者の同意があった時に行うことになる。 ５【委員質問】 　以前から事故の多い川原橋交差点における交通事故抑止対策について検討いただきたい。 【交通課長が回答】 　川原橋交差点においては事故が増加しており、現在、自治会長とも話をし、警察と道路管理者とで協議中である。 　横断歩道の停止線、中央線の見直し等、安全対策を強化する予定である。 ６【委員質問】 　踏切を渡る際、遮断機のバーが下りていなかったため、発進したら、ランプの点滅に気が付いた。音が聞こえなかったので、小さくなったのか。 【総務第二係長が回答】 　警察の所管ではないが、踏切の遮断機については国が定める「鉄道の技術上の基準に関する省令等の解釈基準」において定められているようだ。 　今後、福岡市を中心に高架式の踏切が増えてきており、踏切自体が少なくなっていく傾向にあり、こういった問題も解消されていくのではないかと思われる。 　線路を横断する際は、十分注意してもらいたい。